社協だより

第194号
2022. 6. 1
点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL 0949 (23) 2551　FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

「生理の貧困」ってなんだろう？

もくじ

●生理の貧困……2
●地域の輪（おもちゃ病院のおがた）
情報の広場（日帰りハイキング・不登校ひきこもり家族相談・移動送迎支援事業）
図書室（いのちの停車場）……3
●お知らせ
（よこいと運動会のお知らせ・福祉カレンダーを寄贈しました・ひきこもり支援事業・各種募集）
ご寄附……4

kantera

カンテラ

切実な困り事を助けてもらえた移動支援

私が事故で車いすの障害者になり、大きな困り事が2つありました。1つ目の困りごと（介護）は公的制度が始まり、何とか利用することが出来たものの、2つ目の困りごと（外出）については、夏冬の体温調整や公共交通機関の利用が難しい状態だったために、移動手段がなく、切実に困っていました。

ほどなくして直方市社会福祉協議会が「移動送迎支援事業」を開始してくださり、利用登録しました。

それからは電動車いすのままで乗れる福祉車両にて、通院やワクチン接種、買い物、公共機関、時には趣味の博物館へ外出することができ、本当にありがたく、助かっています。

また、身体障害があるが故に、経験値が少なくなることも、副次的な困り事と感じています。外出することで社会との接点を作ってもらえて、自宅で孤立することも防いでくれていると思います。唯々、感謝です。

（藤田）

※制度については3ページに記載しています。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

生理の貧困ってなんだろう？

最近、多くのメディアでも取り上げられている**「生理の貧困」**という言葉。目にしたことがある人も多いのではないでしょうか？「生理の貧困」とは、経済的な理由等で、生理用品を十分に入手できない状態のことを指します。

厚生労働省が、令和4年3月に発表した調査結果によると、1割弱の女性が「生理用品の購入や入手に苦労したことがある」と回答。また、その理由については「自分の収入が少ないから」「自分のために使えるお金が少ないから」といったものが上位になっています。

私たちが暮らす**直方市**では、昨年度、企業から寄附を受けた生理用品を、市内15の小中学校と直鞍地区5高校、直方特別支援学校に配布し、一部を市で備蓄。各学校では、必要な子が使いやすいように工夫しながら、保健室やトイレに置いて活用しています。

また、必要な方に生理用品をお渡しするフリーナプキンプロジェクトが、有志による活動として実施されており、市内6か所の施設・店舗で配布されています。（施設・店舗は下記参照）

直方市社会福祉協議会も、このプロジェクトに賛同し、表紙の写真にあるポスターを建物の各所に掲示しています。実際にカードを活用し、受け取って帰られる方や、「お役立てください」と、生理用品の寄附で来所してくださる方がいます。その他の施設・店舗でも、受取りやすいように店舗の外に置いたり、イベントの際に声掛けしたりと、それぞれに工夫をされています。

経済的背景を理由とした**困窮者支援**として語られることの多い「生理の貧困」ですが、それだけにとどまらず、様々な背景があることも少しずつわかってきました。しかし、デリケートな問題だけに、その実態の全体像は、まだわからない部分が多いことも事実です。困っている人だけを対象にするのではなく、トイレットペーパー同様、すべてのトイレに生理用品が常備されている状態を望む声もあります。

「問題が見えていないことが、問題だと思うんです。」配付に協力されている、ある店舗の方が言われました。本当に必要としている人は誰なのか？その人たちに本当に届いているのか？そもそも女性だけの問題なのか？

「生理の貧困」について、まだまだ見えていないことが沢山あります。これから私たちが取り組んでいけることは何かと考えた時、思い浮かんだことは、事実をありのままに「知る」ということでした。問題の本質を正しく見るために、まず**知る**ことから始めてみませんか。

生理用品の配布場所

- 直方市社会福祉協議会
- 直方パブテストキリスト協会
- Tree branch 木のおもちゃ＆フリースペース
- カフェピコラ
- 画廊カンヴァス
- 仮想未来区役所直方出張所　囲炉裏

「33年」

半世紀余り前、私に母が言いました。

この数字は生理の初潮からそれが終わるであろう期間です。その頃は生理のことも、その用品を用意するのも、回りを気にしていたように覚えています。

11年前の東日本大震災の折り、生理用品等、女性の避難所での困難や不便さが、公に話され報道され始めたように思います。

このように女性の生理が考えられるようになりましたが、経済的格差問題にコロナ感染症が拍車をかけ、生理用品が買えない人がいます。

「生理用品をどうぞ」という広報活動と、困った時に使えるように配布する運動は嬉しいことです。

今は生理がある期間も長くなっています。これからは社会全体で向き合い考えなくてはならない課題と思います。

そこには障害がある女性の生理に関する問題も忘れてはいけません。

（田中）

この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡下さい。

地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

ボランティアグループ　おもちゃ病院のおがた

「壊れたおもちゃが動き出す喜びを味わいませんか!!」

おもちゃ病院のおがたが活動を始めて15年になります。おもちゃドクターの願いは次の3つです。

①ボランティアによるおもちゃの修理を通し、子ども達の物を大切にする心を養う。

②子ども達と喜びを分かち合い、世代間の交流を図る。

③地域の人たちと共に活動し、交流を図る。

これらの目標も、ボランティアを大切にして下さる市立図書館の理解と支援を頂きながら、続ける事が出来ています。

コロナ禍により休院を余儀なくされましたが「いつ再開しますか?」という問い合わせも頂けるようになり、おもちゃ病院の活動が定着してきたと実感しています。

従来どおり（アンティークで高価なおもちゃ）（球が飛び出る銃のような危険なおもちゃ）（保証期間内のおもちゃ）の修理は、お断りしています。

おもちゃも年々進化し、修理が難しい時もありますが、工夫をしながら楽しんでいます。

現在、ドクターは8名で、皆さんおもちゃの修理や子どもとの会話を楽しんでいます。

市立図書館で毎月第3日曜日を基本的な開院日としており、コロナがもう少し落ち着くまでは、ドクターを2組に分けて開院していく予定です。

ドクターの平均年齢は76歳です。おもちゃ病院のおがたをより充実するためにも、ドクターの養成講座を開き地域の発展に貢献し、ボランティアづくりを進めていきたいと計画中です。余生は与生の気持ちで、楽しみながらこれからも活動を続けていきたいと思っています。

情報の広場

不登校・ひきこもり家族相談

子どもの不登校で悩んでいませんか?

不登校・ひきこもりの子どもたちを抱えた経験者が、悩みや気持ちをお聞きします。

ひとりで抱え込まずに、悩みや苦しい気持ちを共有して、学校に行けずに苦しんでいる子どもを一緒に見守りませんか。

随時、相談を受け付けています。お気軽にご相談・ご連絡ください。

■主催
学校に行かない子どもを支える会

■問い合わせ
直方市社会福祉協議会
TEL 0949-23-2551

移動送迎支援事業

直方市社会福祉協議会では、公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者等の社会参加促進と自立支援のため、移動送迎支援事業を行っています。

■対象者
直方市内に在住で
①手帳（障害者、療育）を持っていて日常的に車いすや補装具を使用している人
②要介護3以上で日常的に車いすや補装具を使用している人など

■運行範囲
福岡県内日帰り

■運行日
年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日

■利用時間
9時～16時30分

■利用料
基本無料（ガソリン代、有料道路代、駐車場代は実費負担）

■主催
第8回日帰りハイキング実行委員会・ボラ連青年部

■申し込み・問い合わせ
久保直幸（実行委員長）
TEL 090(5924)0603

第8回 日帰りハイキングを開催します

■日時
8月21日（日）
10時～14時

■行き先
犬鳴川河川公園

■参加費
無料

図書室

「いのちの停車場」

著者　南　杏子
発行　幻冬舎文庫
直方市立図書館　所蔵

終末期医療を受けようにも、病院では治療のプロセスが決まっていて「何がなんでも命を救う!」…。個人の考えを主張しにくい。でも、長く自宅で暮らしていれば、その人にとって大切なもの、積み重ねた思い出がたくさんあるはず。そこをバッサリ切り捨てるのではなく、「なんとか自宅で過ごせるような医療が!」というスタンスがあってもいいのでは。東京の救急救命センターで働いていた医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り「まほろば診療所」で訪問診療医になる。命を送る現場は戸惑うことばかりだが、様々な涙や喜びを通して在宅医療を学んでいく。（広田）

登録ヘルパー・ふくしバス運転手募集中！お気軽にご連絡ください。

「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。

コロナを吹き飛ばせ！第45回よこいと運動会開催
～障害者、高齢者、子ども、ボランティア誰もが力を合わせて～

よこいと運動会は、障害や年齢に関係なく、誰もが楽しめる運動競技を通して、皆が“よこ”につながることを大切にした運動会です。今年はコロナウイルス感染防止対策を講じた上で、３年ぶりに開催します！

■日　　時　６月５日（日）10時～15時頃
■会　　場　直方市体育館（直方市直方674-25）
■無料送迎バス
・直方駅発　１便　８時50分　２便　９時20分
・体育館発　15時頃（全日程終了後）
■注　　意
・体育館シューズとシューズ入れをお持ちください。
・参加賞としてパンと飲み物を配布いたしますが、昼食が必要な場合は各自ご持参ください。
■問い合わせ　直方市社会福祉協議会

福祉カレンダーを寄贈しました

直方市社会福祉協議会オリジナルの福祉カレンダーを、市内の小学校と特別支援学校の新４年生全員に寄贈しました。このカレンダーは赤い羽根共同募金の配分金で作成しており、福祉に関する様々なテーマを取り上げています。

ホームページでダウンロードできます！

直方北小学校にて

直方市社会福祉協議会

ひきこもり防止支援事業

～独りだけど、一人じゃない～

直方市社会福祉協議会では、ひきこもり防止支援として、相談を受け付けています。また、気軽に集える場所としての（居場所）も開催する予定で動いています。詳細はお気軽にお尋ねください。

ひきこもり相談専用のメールフォームはホームページ又はこちらから→

ふくしバス運転手募集

直方市社会福祉協議会が運行しているマイクロバスの運転手を募集します。

■募集人数　若干名
■賃金(時給)　1,200円
■勤務日　ふくしバスの予約が入った日時
■応募要件　大型自動車運転免許
（詳細はお問い合わせ下さい）

日常生活自立支援事業 生活支援員の募集

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的・精神障害者が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助などを行うものです。

利用者の支援計画に沿って、自宅や施設などを定期的に訪問し、利用料の支払いなどをお手伝いする「生活支援員」を募集しています。

■募集人員　若干名
■勤務時間
１～２回／月（平日）。訪問１回に当たり１時間30分程度
■賃金（時給）
900円（詳細はお問い合わせください）
■応募要件
①普通自動車運転免許
②ボランティア活動や福祉に理解のある方

ご寄附ありがとうございます。

令和４年２月11日～令和４年５月10日
14件　合計金額　370,289円
（お名前は承諾された方のみ掲載 敬称略）

香典返し寄附金
- 感田　（故）福原　健
- 溝堀　（故）尾上　末子
- 感田　栗原　和美
- 上新入　（故）宗廣フミヱ
- 上頓野　（故）藤田　勝己
- 匿名　２件

一般寄附金
- 直方福智山の自然に親しむ会
- 匿名　２件

未使用はがきと切手
- 匿名　４件

編集後記

先日、病院で看護師さんに声をかけられた。「S君のお母さんですか？」

私の息子Sは、知的ハンディがある。

今から36年前、小学校に入学した息子と彼女は、席が隣同士だったという。

私が当時、彼女にかけた「宜しくね。」という言葉を、未だに思い出すと話してくれた。

近況を尋ねられ息子のことを伝えると「幸せなんですねS君、良かった。」と小声で言いながら彼女は微笑んだ。

こんな時、息子が皆と一緒に地域の学校に通って良かったと思う。

入学して３ケ月、どの子もがんばれ。（田中）

車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせ下さい。